



U.S. GRAINS COUNCIL

2012年10月のWASDEレポートへのアメリカ穀物協会コメント

2012年10月11日に米国農務省は10月の世界農業需給予測（World Agricultural Supply and Demand Estimate (WASDE)）を発表し、その中で、米国産トウモロコシの展望としては少し落ち着き、9月の報告からは些少な変化のみでした。単収は毎月0.8ブッシェル/エーカーずつ低下してきましたが、10月の収穫面積は若干上がり8,770万エーカー（30万エーカー上昇）となりました。トウモロコシの収穫は現在進行中で、先週時点での進捗度は例年の28%に対し69%でした。

生育条件は高いマイコトキシンのリスクを示唆していましたが、農家とントリーエレベーターでは、徹底的に検査が行われており、アフラトキシンのレベルが陽性であったトウモロコシは、近隣地域の許容レベルの高い飼料用途に仕向けられています。

10月のWASDE報告書は米国産トウモロコシの生産を、昨年より13%に相当する4,200万トン低く予想していますが、そのとおりであれば、これは米国産トウモロコシにとって、過去8番目に大きい収穫量となります。

米国産トウモロコシ需給					
	2010/11	2011/12	2012/13	2011 から 2012 へ の変化	
期首在庫	43.4	28.7	25.1	-3.6	-13%
生産量	316.2	313.9	271.9	-42.0	-13%
輸入量	0.7	0.6	1.9	1.3	218%
供給量	360.2	343.2	298.9	-44.3	-13%
飼料そのほか	121.7	111.8	105.4	-6.4	-6%
食品・種子・工業用	163.3	162.3	148.6	-13.7	-8%
エタノール生産	127.5	127	114.3	-12.7	-10%
全国内利用	285	274.1	254.0	-20.1	-7%
輸出	46.6	39.1	29.2	-9.9	-25%
全消費量	331.6	313.2	283.2	-30.0	-10%
期末在庫	28.7	30	15.7	-14.3	-48%



米国へのトウモロコシ輸入量は 2011/12 年と比較して 3 倍のレベルに達します
(2012/13 年の 190 万トンに対し、2011/12 年は 60 万トン)。

高い市場価格のため、すべての利用用途において消費量が減少しました：

飼料そのほか	640 万トン (6%) の減少
エタノール利用	1,270 万トン (10%) の減少
輸出	990 万トン (25%) の減少は、高価格とウクライナ、アルゼンチン、ブラジルの強い競争力による

1,570 万トンという期末在庫は 2011/12 と比較して 48%低下となります。これは在庫利用比 5.5%という極めて低い比率となり、8 月の予測より 1%も低下しました。劇的に低い在庫比ですが、1996 年の 5.0%よりは高い値になっています。

米国農務省によると、世界のトウモロコシ生産は 8 億 3,900 万トンで、過去 2 番目の高い生産量となり、2011/12 年と比較すると 3,700 万トン低くなりましたが、2010 年と比較すれば 820 万トン高い量となります。米国でのトウモロコシ生産量が過去 3 年間に減少した 4,480 万トン分のほとんどがウクライナ、アルゼンチン、ブラジルでの生産量増加によって埋め合わされました。世界の在庫の使用量比は 13.7%減少し、15 年ぶりの低い値となりました。

米国のトウモロコシ輸出と輸出市場シェアは、ここ数年間減少してきましたが、それは米国での供給量減少、世界的生産増加を促した高価格、輸出市場における競争の激化によるものです。2012/13 年の世界のトウモロコシ貿易は 2011/12 年レベルである 1 億 230 万トンから 8,990 万トン (2010/11 年レベルより少し下回る) へと減退すると予想されます。米国からの輸出は過去 2 年間に 1,740 万トン減少しましたが、アルゼンチン、ブラジル、ウクライナからの輸出は同じ 2 年間に 1,720 万トン伸びました。

トウモロコシ輸 出量	2010	2011	2012	2010 年と 2012 年の 対比
世界	91.5	102.3	89.9	-1.5
米国	46.6	39.1	29.2	-17.4
アルゼンチン	16.4	16.0	18.5	2.2
ブラジル	8.4	14.5	16.0	7.6
ウクライナ	5.0	14.5	12.5	7.5
その他	15.1	18.2	13.7	-1.4
Subtotal	44.9	63.2	60.7	15.8

